

平成 12 年 7 月 31 日 (月)

佐野 博之

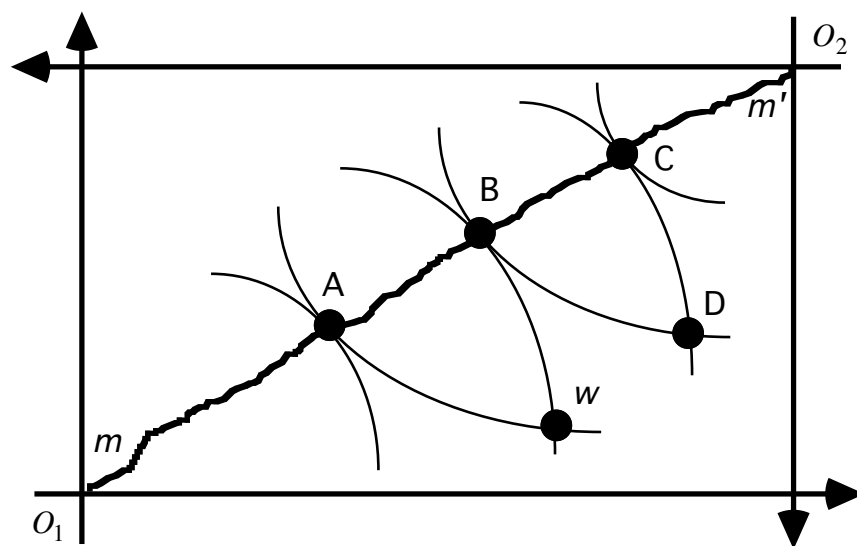
平成 12 年度前期『公共経済学』（夜間主）定期試験問題

I. 以下の問題 1 と 2 の両方を解答しなさい。

1. 純粋交換経済の市場均衡とパレート最適に関する以下の記述にはそれぞれ誤りがある。誤りを訂正し正しい内容を記述しなさい。(6×5=30 点)

- (1)たとえ他の人の効用が低下しても、ある人の効用を高めることができるならば、その経済はパレート改善の余地がある。
- (2)他の人の効用を低めることなく、ある人の効用を高めることができる状態がパレート最適である。
- (3)必ずしもすべての人々について限界代替率が均等しくなくても、パレート最適配分は達成される。
- (4)契約曲線はパレート最適点の集まりなので、市場均衡点は必ずしも契約曲線上には存在しない。
- (5)消費のパレート最適条件と市場均衡条件は必ずしも一致しないので、完全競争市場はパレート最適配分を達成しないことがある。

2. 下に示してあるエッジワースのボックスダイアグラムに関して、以下の問いに答えなさい。(30 点)



- (1) 図中の A~D 点のうち、パレート最適点ではないものはどれか。(5 点)
- (2) 図中の契約曲線 mm' について説明しなさい。(10 点)
- (3) 初期賦存点が図中の w 点であるとき、市場均衡点はどのように表されるか。エッジワースのボックスダイアグラムを描き、その中に示しなさい。ただし、ボックスダイアグラムの中には市場均衡点の他に、各人の無差別曲線、予算制約線、初期賦存点を必ず描くこと。(15 点)

Ⅱ. 以下の問題 3 と 4 のうちいずれか 1 つを選んで解答しなさい。

3. 所得分配に関する以下の問題に答えなさい。(40 点)

- (1) 個人 1 と 2 の 2 人から成る社会において、個人 1 と 2 の所得をそれぞれ Y_1 と Y_2 、効用関数を $U_1(Y_1)$ と $U_2(Y_2)$ 、社会的厚生を W で表すとする、ピグー型とロールズ型の社会的厚生関数はそれぞれどのように表されるか。(10 点)
- (2) ピグー型とロールズ型のそれぞれの社会的厚生関数から導き出される社会的無差別曲線を図に描きなさい。ただし、縦軸に U_2 、横軸に U_1 をとること。(10 点)
- (3) ピグーモデルの問題点（批判点）を 2 つ指摘し議論しなさい。(20 点)

4. 公共財供給に関する以下の問題に答えなさい。(40 点)

- (1) 公共財を特徴付ける 2 つの性質を簡潔に説明しなさい。(10 点)
- (2) 個人 1 と 2 の 2 人から成る経済において、公共財供給量（＝消費量）を G 、個人 1 と 2 の限界効用をそれぞれ $MU_1(G)$ と $MU_2(G)$ 、限界費用を $MC(G)$ で表すとき、部分均衡モデルにおける公共財のパレート最適条件を記せ。さらに、限界効用が逓減し限界費用が逓増するとして、パレート最適点を図を使って示せ。ただし、縦軸に MU および MC 、横軸に G をとること。(10 点)
- (3) 純粋公共財が市場によって供給されるとき、パレート最適供給量と比較してどのような結果がもたらされるか。また、そのような結果がもたらされる理由を簡潔に説明しなさい。(20 点)